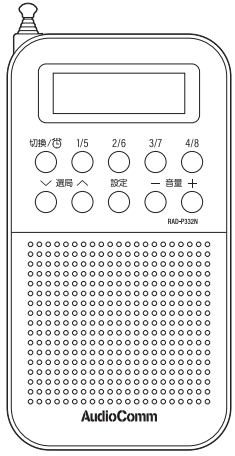


AudioComm® 取扱説明書

充電式2バンドポケットラジオ

型番：RAD-P332N-W 品番：03-7051
RAD-P332N-K 03-7052



このたびは、AudioComm® 充電式2バンドポケットラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

危険

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

- 充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれしたときは、素手で触らない**
 - ・本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
 - ・万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
 - ・液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がかかるなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する**
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する**
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない**
 - ・火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない**
 - ・感電するおそれがあります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない**
 - ・交通事故の原因になります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない**
 - ・高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 本機や充電コードの上に重いものをのせない**
 - ・破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。
- 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない**
 - ・コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 付属の充電コード以外では充電しない**
 - ・火災や感電、機器の故障の原因となります。
- 火の中に入れない**
 - ・誤って火中に入れると、充電電池式電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

- 小さなお子様の手の届かないところに保管する**
 - ・思わぬ事故を招くことがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けけない**
 - ・聴力障害などの原因となることがあります。
- 浴室、台所など湿気が多い場所や水飛沫のある場所では使わない**
 - ・感電や故障の原因となります。
- ぬれた手で操作しない**
 - ・故障や感電の原因となる場合があります。
- 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない**
 - ・破損・故障の原因となります。
- 充電コードを熱器具に近づけない**
 - ・コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となる場合があります。

- キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない**
 - ・内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない**
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない**
 - ・落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない**
 - ・変形・変色の原因となります。
- 充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない**
 - ・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部を持って抜いてください。

静電気に関するご注意

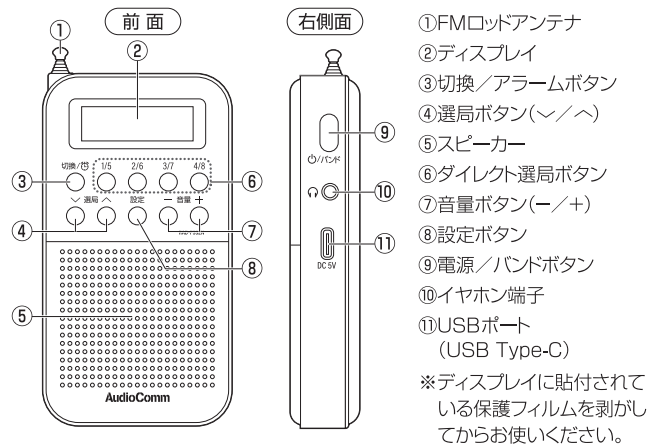
空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じる場合がありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムイオン電池：本機に内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。**
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自自治体にご相談ください。**

各部の名称



電源のオン/オフ

- 電源/バンドボタンを長押しすると、電源が入ります。**
 - ディスプレイに「H」が一時的に表示された後、ラジオを受信します。
- 電源が入っているときに電源/バンドボタンを長押しすると、電源が切れます。**
 - 「OFF」表示の後、ディスプレイが暗くなり、時刻表示になります。

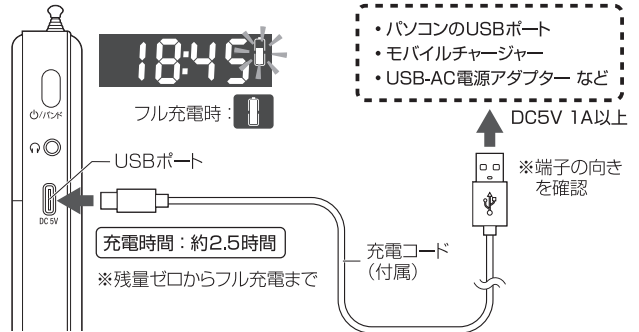
ヒント ディスプレイ表示について

- 電源が入っているとき**：選局などの操作後、何も操作しないと約10秒で時刻表示になり、さらに20秒経つとディスプレイが暗くなります。その後、任意のボタン操作をするとディスプレイが明るくなります。
- 電源を切った後**：任意のボタンを押すと、ディスプレイの時刻表示が明るくなります(切換/アラームボタンを押すと、アラーム操作になりますのでご注意ください)。そのまま約30秒経つと、ディスプレイが暗くなり、約10分後にはディスプレイ表示がオフになります。オフになった後は、電源/バンドボタンを押すと、時刻が暗く表示され、もう一度押すと、明るい表示に変わります。



充電のしかた

付属の充電コードを使って、本機のUSBポートとパソコンやモバイルチャージャーなどのUSBポート(DC5V 1A以上)を接続してください。充電が始まると、充電レベルに応じて電池残量表示が点滅し、完了するとすべて点灯します。

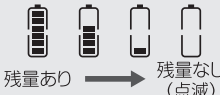


ポイント

- 必ず付属の充電コードを使う(付属のコード以外をご使用になると、充電ができない場合があります)。
- 付属の充電コードを他の製品に使わない。
- パソコンから充電するときは、電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。また、パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)は解除する。

ご注意

- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を介して充電してください。ただし、この場合、24時間以上、つなぎっぱなしにしないでください。
- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合がありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 使用中の電池残量は、ディスプレイの電池残量表示で確認できます。電池残量が少なくなったら早めに充電し直してください(電池残量がなくなっても、設定したメモリー内容は保持されます)。



時刻設定のしかた

- 1 **電源が切れている状態で、設定ボタンを長押しします。**
 - 「時」表示が点滅します。
 - 本機の時刻は24時間表示です。
 - ディスプレイが非表示になっているときは、電源/バンドボタンを一度押した後に、設定ボタンを長押ししてください。
- 2 **選局ボタン(~/へ)を押して「時」を選び、設定ボタンを押します。**
 - 設定ボタンを押すと、「分」表示が点滅します。
- 3 **選局ボタン(~/へ)を押して「分」を選び、設定ボタンを押します。**
 - 点滅が止まり、設定が確定します。

ご注意

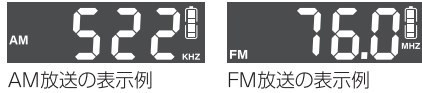
- 何も操作しない時間が約15秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。

ラジオを聴く

ディスプレイが時刻表示や暗い表示になった後などは、1回のボタン操作では動作しないことがあります。そのときはもう一度同じボタンを押して、操作を続けてください。

1 電源／バンドボタンを長押しして電源を入れます。

2 必要に応じて電源／バンドボタンを押し、バンドを選びます。



3 選局ボタン(∨／へ)を約2秒間長押しします。

- 周波数が自動で送られ、最初に受信できた放送局で止まります。
- 同様の操作を繰り返して、聴きたい放送局を受信してください。

手で周波数を調節するときは

① 切換／アラームボタンを約2秒間長押しします。

- 周波数表示が点滅します。

② 周波数表示が点滅している間に、選局ボタン(∨／へ)で周波数を選びます。

- AM放送は9kHzごと、FM放送は0.1MHzごとに進みます。

4 音量ボタン(-／+)で音量を調節します。

- 音量レベルは00～30の間で調節でき、約2秒間表示されます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。



5 終了するときは、電源／バンドボタンを長押しして電源を切ります。

受信状態を良くするには

●AM放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。

●FM放送の場合

FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。FMステレオ放送はステレオイヤホン使用時のみ対応となります。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

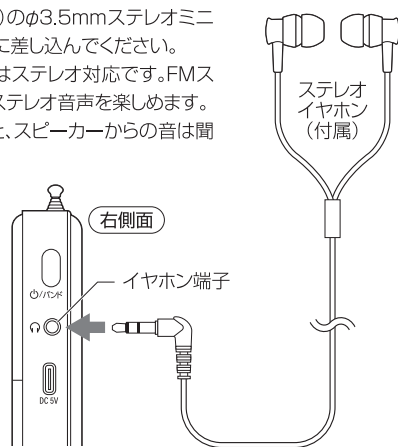
※持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めてください。

イヤホンで聴くときは

ステレオイヤホン(付属)のφ3.5mmステレオミニプラグを、イヤホン端子に差し込んでください。

●本機のイヤホン端子はステレオ対応です。FMステレオ放送の場合はステレオ音声を楽しめます。

●イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。



オートスキャン

お使いのエリア(場所)で受信可能な放送局を一括してプリセット登録します。AM放送は最大20局、FM放送は最大50局まで登録できます。

設定
●スキャンしたいバンドを選んだ後、設定ボタンを長押ししてください。

●周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順にプリセット登録していきます。オートスキャン中に放送局が登録されると、一時的に放送を受信し、プリセット番号(P01、P02など)が表示されます。

登録した放送局を受信するには



その1 選局ボタン(∨／へ)を押して、プリセット番号を選んでください。

●押すたびに登録されている番号が順に表示されますので、聴きたい放送局になったら押すのをやめます。プリセット番号は約3秒後に周波数表示に変わります。



その2 オートスキャンで登録された放送局のうち、プリセット番号1～8は、ダイレクト選局ボタンでも選ぶことができます。

- プリセット番号1～4：聴きたい放送局のダイレクト選局ボタンを押します。
- プリセット番号5～8：切換／アラームボタンを押した後、聴きたい放送局のダイレクト選局ボタンを押します。



例：切換／アラームボタンを押し、プリセット番号5を選ぶときは上のように表示されます。

ご注意

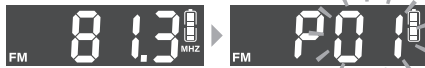
- 登録されていないダイレクト選局ボタンを押しても、その番号は表示されません。
- オートスキャンを実行すると、手で登録したプリセットも含めて、それまでの内容がすべてリセットされます。

手動プリセット登録

任意の放送局を手動でプリセット登録するときは、以下の手順で操作してください。

1 登録したい放送局を受信している状態で、設定ボタンを押します。

- プリセット番号が点滅しますので、点滅している間に②の操作をしてください。



2 選局ボタン(∨／へ)を押して、登録したいプリセット番号を選び、設定ボタンを押します。



登録した放送局を受信するには

オートスキャンで登録した放送局を受信する場合と操作は同じです。

ご注意

- オートスキャンで登録済みの番号を手動登録時に選ぶと、プリセット内容が上書きされます。また、手動プリセット登録後、オートスキャンを実行すると、それまでの内容がすべてリセットされます。
- 登録済みプリセット番号から離れた番号に登録すると、その間の番号にも受信できない周波数が割り当てられます。できるだけ既存プリセット番号の次から順番に登録していくことをおすすめします。

アラーム

電子音またはラジオ放送(AM/FM)のいずれかをアラーム音に設定できます。ラジオ放送の場合は、あらかじめご希望の放送局を受信したうえで電源を切り、以下の操作をしてください。アラーム設定後に電源を入れて放送局を変更すると、変更後の放送局で起動します。また、ラジオ放送にてアラーム設定後、再度電源を入ると、下記のステップ⑥で設定した音量で起動します。

1 電源が切れている状態で、切換／アラームボタンを長押しします。
●アラームマーク(☒)と「時」表示が点滅します。



2 選局ボタン(∨／へ)を押して、設定したい「時」を選び、設定ボタンを押します。
●設定ボタンを押すと「分」表示が点滅します。



3 選局ボタン(∨／へ)を押して、設定したい「分」を選び、設定ボタンを押します。
●設定ボタンを押すと音源を設定する表示に変わります。



4 選局ボタン(∨／へ)を押して、設定したいアラーム音を選び、設定ボタンを押します。
●「bUZ」：電子音 「rAd」：ラジオ
●電子音を選んだ場合は、この段階で設定が完了し、現在の時刻表示に戻ります(音量設定はできません)。
●ラジオを選んだ場合は、設定ボタンを押すと音量設定の表示に変わります(ステップ⑤に進んでください)。



5 [ラジオ設定時のみ] 選局ボタン(∨／へ)を押して、設定したい音量を選び、設定ボタンを押します。
●音量レベル5～25(5段階刻み)で設定できます。



- 設定ボタンを押すと、アラームマークの点滅が点灯に変わり、設定がすべて確定します(現在の時刻表示に戻ります)。
- アラーム機能が有効なときは、アラームマークが表示されます。

ヒントとご注意

アラーム設定時：

- 何も操作しない時間が約15秒間続くと、それまでの内容で設定が確定します。操作途中で終了した場合でもアラームマークが表示され、起動時刻になるとアラームが起動しますので、必要に応じて最初からやり直してください。
- アラームを解除するには、電源が切れているときに切換／アラームボタンを押して、アラームマークを消してください。
- 前回と同じ設定でアラームを起動させたいときは、切換／アラームボタンを押して、アラームマークを表示させるだけで設定が完了します(一時的に設定時刻が表示されます)。

アラームが鳴ったら：

- アラーム音としてラジオを設定しているときは、設定音量まで徐々に大きくなります(電子音の場合は一定です)。
- アラームを止めるには、電源／バンドボタンを押してください。
- それ以外のボタンを押すとスヌーズとなり、一時的に音は消えますが、約9分後に再び起動します(ラジオの場合は一時的に「OFF」と表示された後、スヌーズになります。スヌーズ中はアラームマークが点滅します)。
- 電源／バンドボタンでアラームを止めた場合でも、そのままでは翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。アラームを鳴らないようにするには、切換／アラームボタンを押してアラームマークを消してください。

お手入れのしかた お手入れを始める前に必ず電源を切ってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

故障かなと思ったら

充電できない

- 充電コードは正しく接続されていますか。
- パソコンに接続している場合、電源供給ができるUSBポートにUSBハブなどを介さず、直接接続していますか。パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。
- 付属品ではない充電コードを使用していないですか。

電源が入らない

- 電源／バンドボタンを長押ししましたか(短く押ししていませんか)。
- 充電電池が消耗していませんか。

音が出ない／音が小さい

- 音量が最小になっていませんか。
- 電源は入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- イヤホン端子にイヤホンがつかないでいませんか。
- 充電電池が消耗していませんか。
- イヤホン使用時：イヤホン端子にプラグが確実に接続されていますか(ゆるんでいませんか)。

雑音が多い／音が悪い

- 充電電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していないで(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くで受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。

オートスキャンで放送局が登録されない

●電波状況は良好ですか。良くない時間帯や場所で行なうと、意図したおりに登録されないことがあります。できるだけ電波状況が良い状態で再度お試しください。

アラームが鳴らない

- 現在の時刻及びアラームが起動する時刻を正しく設定しましたか。
- アラーム音源は正しく設定しましたか。また、音量設定が小さくなっていませんか。

主な仕様

電源	DC5V 1A (USB-C給電)
内蔵バッテリー	充電式リチウムイオン電池(DC3.7V 800mAh)
最大出力	650mW
受信周波数	AM:52.2～171.0kHz FM:76～108MHz
スピーカー	口径40mm×1(8Ω)
充電時間	約2.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	スピーカー時 AM受信:約11時間 FM受信:約12時間 イヤホン時 AM受信:約15時間 FM受信:約15時間
連続待機時間	約300日(電源オフ・時計表示のみの場合)
アンテナ	AM:フェライトバーアンテナ(内蔵) FM:ロッドアンテナ
接続端子	電源:USB-C端子 イヤホン:φ3.5mmステレオミニジャック
時計精度	月差約30秒
外形寸法	幅58×高さ108×奥行21.8mm(突起物含まず)
質量	約98g
付属品	専用充電コード、ステレオイヤホン、保証書、取扱説明書

※充電時間、連続使用可能時間、連続待機時間は目安です。使用状況により異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。